

2015 年 10 月入学
横浜国立大学大学院 環境情報学府 博士課程後期
渡日前特別選抜 学生募集要項

1. はじめに

横浜国立大学大学院 環境情報学府 博士課程後期では、日本国外に在住する志願者が来日することなしに直接受験する機会を提供しています。今回は、2015 年 10 月入学の学生を募集します。

入学を希望する方は、この募集要項をよく読んで、必要とされる情報を正確に取得し、間違いのないように出願手続きを行ってください。

本学府には、多様な研究分野が設けられており、分野ごとに受け入れ可能な人数などが異なります。そのため、志願者は、自分が専攻したい分野を見つけ、その分野を担当する教員とあらかじめ相談した上で、出願をしてください。なお、本学府の授業は、原則、日本語で行われていますが、一部の教員は英語での研究指導が可能ですので、直接、志望先教員に確認してください。

本入試に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

問い合わせ先

理工学系大学院等大学院環境情報学府係〔環境情報 1 号棟 2 階〕

住 所： 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 7 9 - 7

E-mail： kankyojoho@ynu.ac.jp

問い合わせは、電子メールで日本語または英語でお願いします。

環境情報学府博士課程後期 専攻別問い合わせ教員一覧

専攻名	コース名	氏名	E-mailアドレス
環境生命学	地球環境	下出 信次	shimode@ynu.ac.jp
	生命環境	中村 達夫	t-nakamu@ynu.ac.jp
環境システム学	マテリアルシステム	荒牧 賢治	aramakik@ynu.ac.jp
	システムデザイン	中野 健	nakano@ynu.ac.jp
情報メディア環境学	情報メディア学・ 環境数理解析学	森 辰則	tmori@ynu.ac.jp
		野間 淳	noma@ynu.ac.jp
環境イノベーション マネジメント		遠藤 聡	a-endo@ynu.ac.jp
環境リスクマネジメント	生命環境マネジメント	亀屋 隆志	kameya@ynu.ac.jp
	セイフティマネジメント	小林 剛	koba@ynu.ac.jp

問い合わせは、電子メールで日本語または英語でお願いします。

2. 博士課程後期概要

(1) 博士課程設置趣旨

21世紀の課題である持続的循環型社会の実現には、多面的な環境問題、急速に進展する情報科学、ダイナミックな社会のイノベーション等の分野において専門的知識を有し、問題を創造的に探求し、解決に導く能力を有する人材が求められている。このため、自然破壊、エネルギー問題、資源・食料・生命問題、情報技術革新などの自然環境、人工環境、情報環境に関わる諸問題の理解と解決方法、およびこれらを支える物質・材料に関する教育研究を推進し、環境・情報・技術革新を適切にマネジメントする理論と方法論を幅広く修得し、高い専門性と見識に基づいた実践的問題解決能力を有する専門家や研究者を育成する。

本学府には環境生命学、環境システム学、情報メディア環境学、環境イノベーションマネジメント、環境リスクマネジメントの5つの専攻があります。

各専攻の概要は下記のホームページ・サイトをご覧ください。

環境生命学専攻 http://www.eis.ynu.ac.jp/english/category01/academic/natural2.html
環境システム学専攻 http://www.eis.ynu.ac.jp/english/category01/academic/system.html
情報メディア環境学専攻 http://www.eis.ynu.ac.jp/english/category01/academic/media.html
環境イノベーションマネジメント専攻 http://www.eis.ynu.ac.jp/english/category01/academic/innovation.html
環境リスクマネジメント専攻 http://www.eis.ynu.ac.jp/english/category01/academic/risk.html

(2) 環境情報学府・専攻のアドミッション・ポリシー [入学受入方針]

下記のホームページ・サイトをご覧ください。

<http://www.eis.ynu.ac.jp/english/category04/policy.html#2>

3. 本学府における学生の受け入れ可能教員と研究内容・使用言語

下記のホームページ・サイトをご覧ください。

http://www.ynu.ac.jp/english/exam/professors_env.html

4. 出願資格

出願時に日本国外に居住する者で、日本国外で修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2015年9月30日までに日本国外で修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得見込みの者。

*日本国外で修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得見込みの者が、入学試験に合格した後に、2015年9月30日までに学位を取得できなかった場合は、入学許可を取り消します。

5. 募集人員

環境生命学専攻：若干名

環境システム学専攻：若干名

情報メディア環境学専攻：若干名

環境イノベーションマネジメント専攻：若干名

環境リスクマネジメント専攻：若干名

6. 出願手続き

(1) 志願者は、本学府入学後に研究指導を受けたい教員を1名選んで、直接E-mail等で連絡をとった上で、必ず出願の許可を得てください。受け入れ可能な教員と教育研究分野については、3.のサイトで検索してください。教員の連絡先については、下記の研究者総覧のサイトで検索してください。

<http://er-web.jmk.ynu.ac.jp/>

*教員の連絡先が不明な場合は、1.にある専攻別問い合わせ教員まで、お尋ねください。

受け入れ予定教員と相談する際には、履歴書、過去の業績リスト、入学後の研究希望計画書、外国語試験の成績（TOEIC、TOEFL、日本語能力検定試験など）などの情報を指示に従って提出してください。

(2) 志願者は、下記の書類を、入学検定料を添えて、2015年5月25日（月）から6月19日（金）までに到着するように、EMS（国際スピード郵便）等、引き受けや配達を記録できる方法で郵送してください。なお、英語または日本語以外の証明書については、英語訳または日本語訳を添付してください。

*出願に必要な書式については、[こちら](#)から入手できます。

- ①入学願書：所定のもの。（書式1）
- ②研究（希望）計画書：所定のもの。（書式2）
- ③写真：出願前3か月以内に撮影されたもの。縦4.5cm、横3.5cmのもの1枚。入学願書に貼付してください。
- ④最終大学院修了証明書または修了見込み証明書
- ⑤最終学歴成績証明書
- ⑥業績報告書：所定のもの。修士論文の概要、公表論文その他の業績リスト（別刷および業績概要を添付すること）。（書式3）
- ⑦語学能力を客観的に示す書類（該当者のみ）：
TOEIC または TOEFL の成績証明書・スコアシート（英語を母国語としない者で、希望する指導教員から提出するよう指示があった者。成績証明書・スコアシートは出願前24か月以内のものに限る）
日本語能力検定試験の成績証明書（日本語を母国語としない者で、希望する指導教員から提出するよう指示があった者。）
- ⑧推薦書：所属・出身大学等の指導教員または研究科長レベル以上が作成したもの。
- ⑨身分証明書のコピー（1部）：本人の写真が記載されているものに限りです。
例えば、パスポートのコピー（氏名・国籍・写真が記載されているページ）、運転免許証のコピー、など。
- ⑩入学検定料：30,000円
クレジットカード（VISA・MasterCard・JCB・American Express・MUFG・DC・UFJ・NICOS）、または中国銀聯網決済により払い込んでください。詳細は本学ホームページをご覧ください。

<http://www.ynu.ac.jp/exam/graduate/payment/index.html>

「支払い完了通知のメール画面を印刷したもの」を所定の貼付用紙の欄に貼り付けて出願書類に同封してください。入学検定料が払い込まれていない場合や、それらが貼り付けていない場合は出願を受理しません。

宛先：Office of Academic Affairs

Graduate School of Environment and Information Sciences

Yokohama National University

79-7 Tokiwadai, Hodogaya-ku, Yokohama, 240-8501

JAPAN

7. 選抜の方法

応募した書類に基づく書類審査、及び学力試験（筆記試験、または口述試験（インターネットインタビューを含む））を実施します。試験日時、実施方法等詳細は後日志願者に直接通知します。

8. 合格発表

結果は、2015年7月31日（金）に環境情報学府のホームページ上で発表するとともに、志願者宛てに郵送します。

9. 入学時に必要な経費

- (1) 入学料 282,000円（現行）
- (2) 授業料 半期分 267,900円（年額 535,800円）（現行）

[注1] 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

[注2] 納入方法の詳細は、入学手続書類と一緒に送付します。

10. 博士後期課程学生への経済支援、教育・研究支援制度について

博士課程の学生が、経済的理由等により学業に専念できないことがないように、また、学生の研究活動が活発に行われるよう、さまざまな形での経済支援、教育・研究支援の制度が取られています。詳細は、環境情報学府のホームページをご覧ください。

<http://www.eis.ynu.ac.jp/category05/support.html>

*留学生の方は応募できない制度が一部あります。

11. 合格発表後の渡日手続きについて

日本に来る前に次の手続きを必要とします。

(1) パスポートの取得

パスポートは自国の政府から発行されるもので、これがないと出入国できません。初めてパスポートを申請する場合は、受験や入学の証明書を必要としたり、受け取るまで時間がかかったりする場合があります。事前に確認した上で、申請手続きをしてください。また、証明書が必要な場合は、必ず、出願の時に申し出てください。

(2) 査証の取得

本学留学生の在留資格は、「留学」です。初めて入国するときは必ず、「留学」査証で入国する必要があります。「留学」査証は日本の入国管理局が発行した在留資格認定証明書を日本公館に提出すれば、取得できます。在留資格認定証明書の申請は1) 日本に住む親・兄弟姉妹、配偶者、2) 奨学金の提供者、3) 指導教員だけが申請できます。

「留学」以外の査証(「家族滞在」を除く)からの変更は、極めて複雑な手続を必要としたり、変更が認められなかったりしますので、「留学」の査証を取得して入国をしてください。「留学」以外の査証を持つ学生は留学生と見なされませんので、留学生対象の奨学金に申請できないなど、留学生向けのサービスを受けられません。

(3) 住宅の確保

渡日後の住まいは、日本に住む代理人や同国の留学生を通じて事前に準備しておくようお願いします。なお、下記のホームページ・サイトもご覧ください。

<http://www.ynu.ac.jp/english/campus/institution/index.html>

<http://www.ynu.ac.jp/english/international/accept/guidebook.html>

1 2. 注意事項

- (1) 出願手続後の提出した書類の内容変更は認めません。
- (2) 出願書類の記載事項に記入もれやその他の不備がある場合は、出願書類は受理しません。
- (3) 一度納入した入学検定料および提出した書類は、いかなる理由があっても一切返付しません。
- (4) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の返還はしません。
- (5) 在留資格「留学」を取得するに当たっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。

1 3. 個人情報の取り扱いについて

志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料及び本学における諸調査・研究にも利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。